

# 2019

## 新年のごあいさつ



吉岡町長

石関 昭

あけましておめでとうございます。健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般にわたりご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。町では、「キラリよしおか一人と自然輝く丘の手タウン吉岡町」と掲げた基本構想に基づき、「第5次吉岡町総合計画」を策定して数々の施策を展開してきました。昨年は、文化財センターが開館し、郷土の歴史・伝統文化の



吉岡町議会議長

馬場 周二

あけましておめでとうございます。町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。昨年を振り返ると台風による

豪雨や暴風、そして大阪北部・北海道胆振地方の地震、また本県でも草津白根山の噴火など、多くの自然災害に見舞われました。人命や田畑そして施設やインフラなど多くの被害が発生しました。自然災害はいつ何時襲いかかるかわかりません。これからも一層の防災対策を進めていかなければと痛感しています。

保全と活用の拠点となっております。そして、整備を続けてきた南下城山防災公園(仮称)が3月にいよいよ完成する予定です。子どもの遊び場や町民の交流・健康づくりの場として、ぜひ足をお運びください。

また、昨年は豪雨や地震などの自然災害が相次ぎ、日本各地に被害がおよびました。こうした自然災害に備え、防災・減災体制の一層の強化を図るとともに、「自助・共助・公助」の精神のもと、災害に強いまちにしなければならぬと改めて痛感しました。今年には新しいハザードマップの

作成や防災行政無線のデジタル化などを進め、住みよい安全で便利なまちづくりに努めます。

町民の皆様への応援をいただき、住んでよかったと思っただけのような、将来に責任を持つ町政を行って参ります。

結びに、本年も変わらぬご支援とお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことをご心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

平成三十一年元旦

吉岡町の人口は、2050年まで人口が伸び続けると言われています。日本全体の人口が減少しているなか、町の人口が増えることは大変喜ばしい事と思えますが、喜んでばかりはいられません。人口が増える事により町の経費もかかります。町に入るお金も増やさなければなりません。町は、行財政改革は勿論、町の資源活用にも取り組んで行かなければなりません。後世の人たちに付けを回さないよう、議会も執行と共に取り組んでまいります。

議会は「議会改革推進特別委員会」を中心に、議会基本

条例の見直しを進め、町民に信頼される議会を目指し取り組んでいます。議員定数の見直しや町民皆様への議会活動の報告会など、皆様と共に取り組んで行ける議会をどのように進めて行けるかなど調査研究を進めています。議員個々の資質向上を目指し町民皆様に愛される議会を追及しています。

結びに、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。

平成三十一年元旦

